

## 第4回山形県地域医療対策協議会 議事要旨

1 日 時 令和2年2月6日（木）13時45分～15時05分

2 場 所 県庁2階 講堂

3 出席者

### －委員（五十音順）－

|    |       |                         |
|----|-------|-------------------------|
| 会長 | 吉村美栄子 | 山形県知事                   |
| 委員 | 阿彦忠之  | 山形県健康福祉部医療統括監           |
| 委員 | 安藤常浩  | 社会医療法人みゆき会みゆき会病院長       |
| 委員 | 石井政次  | 山形済生病院長                 |
| 委員 | 大串雅俊  | 米沢市立病院長                 |
| 委員 | 大澤賢史  | 山形県病院事業管理者              |
| 委員 | 鎌塚栄一郎 | 北村山公立病院長                |
| 委員 | 神村裕子  | 山形県医師会副会長               |
| 委員 | 川並透   | （独行）国立病院機構山形病院長         |
| 委員 | 後藤康夫  | 寒河江市立病院長                |
| 委員 | 佐藤俊浩  | 最上町立最上病院長               |
| 委員 | 島貫隆夫  | （地独）山形県・酒田市病院機構日本海総合病院長 |
| 委員 | 鈴木聡   | 鶴岡市立荘内病院長               |
| 委員 | 武田弘明  | 山形県立中央病院長               |
| 委員 | 土田正剛  | 山形県市長会長（東根市長）           |
| 委員 | 中目千之  | 山形県医師会長                 |
| 委員 | 根本建二  | 山形大学医学部附属病院長            |
| 委員 | 八戸茂美  | 山形県立新庄病院長               |
| 委員 | 林雅弘   | 公立置賜総合病院長               |
| 委員 | 原田眞樹  | 山形県町村会長（庄内町長）           |
| 委員 | 平川秀紀  | 山形市立病院済生館長              |
| 委員 | 深瀬和利  | 山形県立河北病院長               |
| 委員 | 山下英俊  | 山形大学医学部長                |

### －その他－

山形県地域医療構想アドバイザー

村上正泰 山形大学医学部医学系研究科

## ―事務局―

玉木健康福祉部長、酒井地域医療対策課長、各総合支庁保健企画課長 他

### 4 議題

協議事項

山形県医師確保計画（素案）

### 5 議事概要

#### ○ 山形県医師確保計画（素案）について

- ・ これまで山形県の医師確保には山形大学と蔵王協議会が貢献してきた。また、蔵王協議会では、これまで不透明だった医師配置の透明性の確保を行ってきた。よって、医師確保計画の中に「蔵王協議会と協力して」との文言を入れるべき。
- ・ 蔵王協議会が本県における医師確保に非常に大きな役割を果たしているということは皆さんが理解しているところであり、既存の組織と連携するという考え方にすべて包括されているというのであれば、あえてその文言を入れなくてもよいのではないか。
- ・ 医師は、人数合わせでなく、地域医療の現状を総合的に考えながら配置すべき。  
そのためには医学的な知識をもった大学、医師会、蔵王協議会と県が一緒になって医師の配置を考えるべき。
- ・ 医師の配置については、部分的なところだけではなく、臨床現場の視点に立って調整を積み重ねていくべきであり、それに相応しいきちんとした体制なり仕組みを作ることを考えていく必要があるのではないか。
- ・ 医師の高齢化について、今後、山大医学部の1期生が退職する時期になることを考慮し、退職した医師の活用も考えて、県、山形大学医学部がリーダーシップを発揮して、各病院、協議会との連携を図りながら、医師の適正配置の観点から考えることが必要だ。

以上